

# 平成20年度の全会計決算を認定

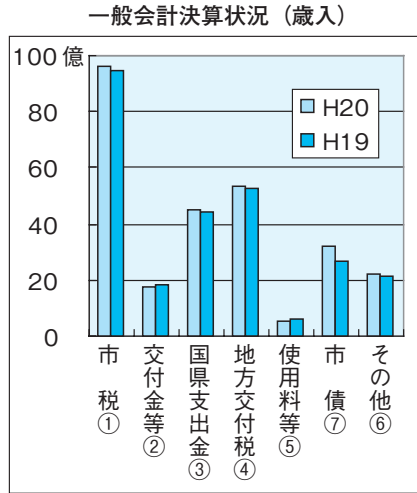
今期定例会で、平成20年度各会計の決算が認定されました。各会計の決算状況と決算特別委員会での審査の主な内容をお知らせします。

## ■一般会計

歳入の主なものは、市税が対前年比1.7%増の95億9506万8650円、地方交付税が0.5%増の53億8255万2000円、国庫支出金は2.4%増の45億2973万257円、市債が20.7%増の32億3960万円などで、全体では、2.7%増の271億2556万4975円となっています。

市税①	9,595,068,650
地方譲与税②	449,237,000
利子割交付金②	37,329,000
配当割交付金②	12,936,000
株式等譲渡所得割交付金②	5,871,000
地方消費税交付金②	685,119,000
ゴルフ場利用税交付金②	258,206,167
自動車取得税交付金②	188,298,000
地方特例交付金②	97,279,000
地方交付税④	5,308,252,000
交通安全対策特別交付金②	13,530,000
分担金及び負担金⑤	247,364,571
使用料及び手数料⑤	275,279,924
国庫支出金③	3,073,359,119
県支出金③	1,456,371,138
財産収入⑥	113,229,933
寄附金⑥	19,219,250
繰入金⑥	683,785,374
繰越金⑥	679,828,391
諸収入⑥	686,401,458
市債⑦	3,239,600,000
歳入合計	27,125,564,975

歳出の主なものは、民生費が対前年度比3.1%増の67億4831万8821円、土木費が3.8%増の54億5849万4338円、教育費が1.2%増の



注) 交付金等、国庫支出金、使用料等、その他は左表の○囲み数字の合計で表示しています。

## ■特別会計

笠間市には、国民健康保険など7つの特別会計があります。平成20年度の各会計の決算状況は次のとおりです。

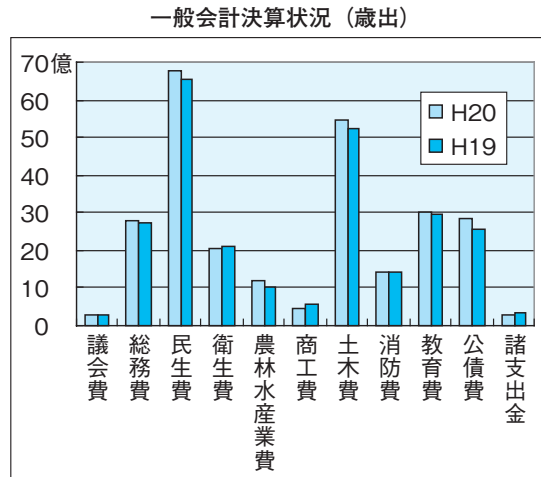
区分	金額
歳入総額	27,125,564,975
歳出総額	26,558,148,266
歳入歳出差引残額	567,416,709
翌年度へ繰り越すべき財源	185,315,000
実質収支額	382,101,709

29億8907万9827円、公債費が12.4%増の28億4757万2842円などで、全体では、3.2%増の265億5814万8266円となっています。

また、歳入歳出差引総額5億6741万6709円のうち、1億85331万5000円が平成21年度事業の財源として繰り越されています。

## 特別会計の決算状況（円）

会計名	収入済額	支出済額
	国民健康保険特別会計	7,764,715,994
老人保健特別会計	648,408,319	648,365,568
後期高齢者医療特別会計	551,503,300	546,624,855
介護保険特別会計	4,170,974,601	4,015,486,560
介護サービス事業特別会計	25,389,518	23,355,606
公共下水道事業特別会計	4,188,963,848	4,150,307,723
農業集落排水事業特別会計	437,517,558	426,040,671



議会費	282,128,017
総務費	2,800,795,087
民生費	6,748,318,821
衛生費	2,039,835,820
農林水産業費	1,187,946,871
商工費	482,868,514
土木費	5,458,494,338
消防費	1,418,099,129
教育費	2,989,079,827
公債費	2,847,572,842
諸支出金	303,009,000
歳出合計	26,558,148,266

■企業会計

笠間市には、市立病院事業と上水道事業、工業用水道事業の5つの公営企業会計があります。各会計の平成20年度決算状況は次のとおりです。

また、今期定例会で「笠間市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」が可決されました。この条例が施行される平成22年4月から、笠間、友部、岩間の3つの水道事業は、「笠間市水道事業」に統一されることとなります。



■基金・市債残高の状況

笠間市には、財政調整基金や土地開発基金など34の基金があります。平成20年度末の基金の状況は次のとおりです。

また、平成20年度末の市債の残高は、次のとおりです。

基金の状況 (千円)

種別	前年度末残高	増減	決算年度末残高
現金	8,586,518	△ 326,246	8,260,272
土地	456,066	△ 4,672	451,394
有価証券	392	0	392
合計	9,042,976	△ 330,918	8,712,058

市債の残高 (千円)

会計	残高
一般会計	25,284,362
特別会計	22,499,805
企業会計	5,302,654
合計	53,086,821

企業会計の決算状況 (円)

区分	収入	支出	差引額	
市立病院事業会計	収益的	453,477,401	460,852,262	△ 7,374,861
	資本的	21,510,000	30,752,966	△ 9,242,966
笠間水道事業会計	収益的	752,755,921	738,916,880	13,839,041
	資本的	601,983,000	799,484,658	△ 197,501,658
友部水道事業会計	収益的	771,465,584	681,930,101	89,535,483
	資本的	414,200,000	549,302,431	△ 135,102,431
岩間水道事業会計	収益的	340,152,473	320,743,809	19,408,664
	資本的	83,298,000	109,219,260	△ 25,921,260
工業用水道事業会計	収益的	33,195,008	32,562,474	632,534

決算特別委員会

開催日 9月9日・10日・11日

●主な質疑意見等

【一般会計】

市長交際費の支出基準、デマンド交通の収支の状況、市債の繰上げ償還、予算の流用と修正の判断基準、租税債権管理機構へ委託する場合の基準、ふるさとづくり寄附金の状況、民間保育所への補助の状況、敬老会の実施状況、外国語観光パンフレットの活用状況、道路台帳更新業務の必要性、給食費未納の状況、各公民館の稼働率、図書資料の購入方法、住宅用火災警報器の設置状況についてなど。

【国民健康保険特別会計】

不納欠損の状況、資格証明書等の発行状況についてなど。

【介護保険特別会計】

介護従事者処遇改善臨時交付金の効果、介護認定審査会の実施状況についてなど。

【公共下水道事業特別会計】

不納欠損の状況、基金繰入の基準についてなど。

【農業集落排水事業特別会計】

長期債償還の理由、不納欠損の状況についてなど。

また、全体をとおして、多額の不用額が発生する要因、予算繰越の要因についてなど3日間にわたり活発な質疑応答がかわされました。

●採決

最終日の11日に採決を行い、平成20年度決算について、一般会計、特別会計、企業会計の全会計を原案のとおり認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会メンバー(8名)

- 委員長 常井 好美
- 副委員長 海老澤 勝
- 委員 野口 圓
- 〃 鈴木 裕士
- 〃 鈴木 貞夫
- 〃 杉山 一秀
- 〃 小蘭江 一三
- 〃 須藤 勝雄

